

# あしっ 育成だより

# 26

立教 187年 10月 23日発行  
編集 / 天理教芦津大教会育成部

特集 ①道の後継者の集いⅢ開催

②学生会の動き、こどもおぢばがえり



## 《親のことば》

さまざまなことが起こる日常なればこそ、その中をたんのうの心を定めて、教えられていることを何からでも実践することが大切です。結果はすぐに見えるものではないけれど、そうした日々を積み重ねることにより、いつしか心が澄んで陽気ぐらしを味わえるご守護を頂けるのではないかと思います。

(立教 187年 婦人会第106回総会真柱様メッセージより)

## ①道の後継者の集いⅢ開催

# 教会の将来を担う若者たちが受講

道の後継者の集い実行委員会（井筒敏成委員長）・育成部（山田道弘部長）は、「芦津 道の後継者の集いⅢ」第1次、第3次を詰所で開催し、18歳から48歳までの芦津に繋がる道の後継者たちが親里に帰り集いました。

第1次【8月24～25日】は41名（スタッフ対象者含む）が、第3次【10月5～6日】は54名（スタッフ対象者含む）が受講しました（第2次は台風の影響で中止）。

受講したのは芦津の将来を担う若者たち。スタッフも前回開催時より若返り、同じ世代の若者が「共に育つ意識」を持って受講者の世話取りにあたりました。

この集いは、芦津に繋がる若者の育成活動の柱として、教祖百三十年祭後から次の年祭までの10年間に計画され、3年毎に開催してきました。

立教181年に「集いⅠ」、立教184年に「集いⅡ」を開催し、今年の「集いⅢ」では、～教祖にお喜びいただける成人を目指して～とのテーマのもと、諭達に込められた真柱様の思いを学び、各々が自分にできるおたすけを見つけること、気づきを得ることを目指しました。

### ●まずは班員のことを知ることから●

1日目、午後12時30分からの開講式に続き、グループワーク①では年代毎に分かれた各班で、班付スタッフの進行のもと、自己紹介やゲームを通して班員同士が交流を深めました。

芦津の中でも初対面の人や、会ったことは



あっても、ほとんど話をしたことがないといった人もあり、緊張をほぐし、少しでも話をしやすい班内の環境をつくるため、自己紹介に続いて、6×6トーキングやハリガリといったゲームを行い、受講者の距離が一気に縮まりました。

### ●教祖の三つのお言葉を通して●

続いて講話ビデオ①-①では、「ひながたの実践【三つのお言葉】」と題して、諭達にある教祖ひながたの三つのお言葉が分かりやすく解説されたビデオを視聴した後、グループワークでねりあいを行いました。



受講者は、「水を飲めば水の味がする」「ふしから芽が出る」「人救けたら我が身救かる」の三つのお言葉から、ワークシートをもとにそれぞれが思うことやビデオを見て感じたことなど、活発な意見を交換しました。

### ●ようぼくに望まれる七つの行動を考える●

講話ビデオ①-②では、「ひながたの実践【七つの行動】」と題して、諭達にあるようぼくに望まれる七つの行動について解説されたビデオを視聴し、七つの行動が自分にできるおたすけに繋がることを再確認しました。その後のグループワークでは、自分に今できている実践や、これから実践できることなど、各々の思いや人それぞれの信仰実践を話し合い、こちらも活発な意見の交換がなされました。



### ●教祖にお喜びいただけるように●

また集いの中で、大教会長様よりお話を頂きました。大教会長様は、「何事にも元があり、それぞれ皆さん方にも信仰の元一日がある。元を辿り、信仰初代の御恩報じの道に思いを致して、今できる御恩報じに精一杯努めていただきたい。そして年祭活動の最中、どうしたら教祖にお喜びいただけるかという思案を忘れず、自分にできる信仰実践にしっかりと励んでもらいたい」と、集う若者に期待を述べられました。



### ●懇親会でさらに親睦を深める●

夕づとめ選拜後、第1次は5階会議室で、第3次は1階食堂で懇親会を行い、各班で婦人会のひのきしんによるオードブルを囲んでの会食となりました。その中で、実行委員長の挨拶、青年会や婦人会からのお知らせ、また趣向を凝らした班対抗ゲームなどもあり、大いに盛り上がりながら、終始和やかなひと時を過ごしました。



### ●自分にできるおたすけの実践を●

2日目、ウォーミングアップの後、講話ビデオ②「おたすけの実践」を視聴。芦津に繋がる若い教会長やようぼくの年祭活動での信仰実践を取り上げた内容で、参加者は真剣に見入りました。



その後、「自分にできるおたすけ」と題したグループワークと、集いを通してのふりかえりを行っていき、ビデオで感じたことや、これから自分にできるおたすけに関して、また受講の感想や学んだことなど、班内で思いを語り合いました。

## ●これからの勇んだ歩みを期待して●

「集いⅠ」「集いⅡ」「集いⅢ」の受講を通して、年齢や立場は違えど同じ芦津に繋がる道の後継者・ようぼくが親里に帰り、親睦を深め、それぞれのテーマのもと語り合いました。

そうしてお互いに刺激を受けながら、自身の成人の立ち位置を見つめ直すことや、これからできる信仰実践、おたすけの実践に繋がる機会にさせていただいたことと思います。

山田道弘・育成部長は、「真柱様より、『道の後継者の育成は急務である』と仰せいただき、

大教会として途切れなく丹精をとの思いで、この集いを定期的で開催してきました。スタッフを含め、こうした育成の場、機会があることの大切さを、参加者の皆さんに改めて感じさせていただき、ここに集っていただいた方々が核となって、次代の芦津の道を繋ぎ、広げてくれることを期待しています」と語りました。

年祭活動ももうすぐ3年目を迎えます。この集いをきっかけに、道の後継者たる若者が、今まで以上に勇んだ歩みを進めてくれることを期待してやみません。



### 集いⅢの感想（受講後アンケートより）

普段当たり前に生活している中で、三つのお言葉を聞いて、困っている人のために自分は何ができるだろうと気付かされました。（27歳・男性）

諭達に込められたメッセージ、これからどう動いたら良いのかを具体的に考えるきっかけになりました。（46歳・女性）

それぞれの方に気付きを頂きました。諭達を読ませていただく毎晩に、今日の日のことを思い出し、日々頑張らせてもらおうと思いました。（40歳・女性）

今回初めて参加して、初めて会う人ともいろいろ話すことができ、教えや班の人の話も聞かせてもらう中で、参加してよかったと思いました。（18歳・男性）

身近なことから行動に移すことに意味があると感じました。自分にできるおたすけの幅が広がりました。まだまだたくさんのお話をさせていただけるんだと感じました。（27歳・女性）

自分にできることはとても小さなことだけど、その積み重ねが大事だと思いました。毎日暮らしていく中で、笑顔になる瞬間を1つでも多く増やしていきたいです！（22歳・男性）

自分の思いを話す機会が今までなかったので、今回の集いで自分の口で皆に伝えることで心の整理もでき、三年千日の目標をつくることのできたので、参加して良かったです。（22歳・女性）

日々は自分の信仰と向き合うだけですが、2日間いろいろな方と話をしたり、ビデオを通して他の方の信仰についての考えや実践されていることを知れて、改めて親神様、教祖のお働きを感じることができ、嬉しかったし、楽しかったです。大教会長様のお話もありがたかったです。（40歳・女性）

②学生会の動き、こどもおぢばがえり

# 活発に動く芦津学生会



## ●全員でおつとめを

芦津学生会（森道治委員長）は、6月30日に「第4回学生会総会」を開催。芦津に繋がる学生45名が大教会に集いました。

森委員長は祭文で、「日頃のお礼と、人をたすける心を込めておつとめを勤めさせていただきます」と奏上し、学生たちはおつとめ衣に身を包み、3交替で世界の人々のたすかりを願いながら、真剣におつとめを勤めました。

続く式典で、大教会長様はご祝辞の中で、おつとめについて「世界中の人々のたすかりと幸せを祈っておつとめが勤められる」と説明された上で、「月次祭のおつとめを勤められるようぼくに成人することを目指して、日々励んでいただきたい」と

語りかけられました。

続いて森委員長が毎月の参拝デーなどの行事を紹介、参加を呼び掛けました。初めての試みである学生の感話には、宮脇里奈さん（津阪）が立ち、学生会活動を通して自分が喜びを頂いた体験と、活動への熱い思いを話してくれました。



## ●学修高校の部、レクリエーション行事

8月9日～13日、学生生徒修養会・高校の部が開催され、芦津から15名が参加。学生たちは、講義、おつとめ勉強などの教理や、グループワークで共に語り、たすけ合いの喜びを実感しました。

また、学修終了後の13～14日、芦津学生会は夏のレクリエーション行事を実施。こどもおぢばがえりでひのきしんを務めてくれた学生や、学修参加者、おぢば在住の学生24名が参加しました。

13日は本部神殿でおつとめを勤めた後、詰所で

バーベキューと花火。プールとスイカ割りゲームなど、和気あいあいとした時間を過ごしました。



## ●ひのきしん隊に参加

学生会は毎月1度、「学生参拝デー」を実施して、本部神殿でお願いづとめ、回廊拭きひのきしんを勤めています。9月は青年会ひのきしん隊の家族入隊日に合わせて実施。学生18名が参加しました。

この日は、青年会員は神殿周辺の清掃・整備作業。女性、少年会員などの家族入隊者は7、8、9母屋の清掃を行いました。青年会長・中山大亮様も入隊され、記念写真にもお入りくださいました。



## ☆こどもおちばがえり 7/27～8/4☆ 真夏のおちばに笑顔が溢れる

### ●期間中、詰所も賑やかに●

7月27日から8月4日まで、おちばで「こどもおちばがえり」が開催され、期間中、芦津からは112隊、少年会員611名（内、わかぎ70名、初参加者142名）育成会員437名、合わせて1千48名が帰参しました。

少年会芦津団（加世田洋団長）は、期間中毎朝ラジオ体操を行い、18時15分からは夕づとめ遥拝を勤めた後、芦津団独自の夜の行事を実施しました。修養科棟修練場では「あしつ広場」を開催し、射的やボールプール、ジャンケンゲーム

など、さまざまなミニゲームを行いました。2階大広間では、今年もあしつおちばやしきを開催。会場内からは子供たちの悲鳴が響き渡り、



帰参した少年会員たちは詰所でもこどもおちばがえりの思い出をたくさんつくってくれました。

1階事務所前では、学生会がかき氷、ポップコーンの販売を行い、こちらも大勢の子供たちで賑わいを見せました。

また、帰参団体の受け入れには、少年会委員、在籍者、各教会からのひのきしん者が、食事の世話や、各所の清掃など、帰参者が快適に過ごせるようひのきしんに勤め、大教会長様からのお土産として、少年会員にうちわを配布いたしました。

### ◇夏休みあしつ親子参拝◇

「教会長子弟育成プロジェクト」の一環として立教180年から始まった「夏休みあしつ親子参拝」を8月23日に実施。夏休みを利用し、教会子弟をはじめ大勢の少年会員が、家族で大教会月次祭に参拝しました。祭典後、参拝場で子供にはお下がりを配布し、食堂前にかき氷をふるまいました。

また夕づとめ後の直会にも、子供連れの家族が大勢参加し、大教会長様を囲んで、賑やかな直会となりました。



## あしつファミリーひのきしん

年祭活動において、大教会の活動方針である「ひのきしんと伏せ込み」を家族揃ってつとめさせていただきます！

**11/30(土)** 午前の部 10時30分～12時  
午後の部 13時～15時

◇大掃除前の大教会内清掃ひのきしん◇

場 所 芦津大教会

対 象 芦津に繋がるみなさん



※食事や準備の都合上、参加する場合  
必ず参加申込をお願いします。  
詳細は大教会・石川健郎まで

ここから参加  
申込ができます

① 道の後継者の集いⅢ開催

② 学生会の動き、こどもおちばがえり

# あしつ 育成だより 26

立教187年10月23日発行  
編集/天理教芦津大教会育成部